

落ち葉のランチョンマット作り

■プログラムの概要

ねらい	親子で葉っぱの違い（形・大きさ・色）を観察し身近な自然に興味を持つ。 落ち葉を使ってランチョンマット作りを楽しむ。		
分野	身近な自然		
対象	乳幼児親子		
時間	30分	実施場所	児童館ホール
使用するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち葉 ・台紙になる英字新聞または色用紙A4サイズ ・ラミネーター専用用紙 ・ラミネーター ・バインダー 		
全体の流れ	<p>【事前準備】 親子で近隣の公園で落ち葉を拾ってくる。 児童館でもいろいろな大きさ、形、色の落ち葉をストックしておく。</p> <p>1. 導入 秋に関する歌や色に興味を持つ手遊びをする。（どんぐりころころ・どんな色がすきなど）</p> <p>2. 親子で制作 集めた落ち葉から好きなものを選び、台紙に並べていく。</p> <p>3. 発表 ラミネート加工の待ち時間に、落ち葉をどこで拾ってきたか発表する。作品が完成したら見せ合って感想を聞く。</p>		

■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
	<p><事前準備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日までにあらかじめ落ち葉を参加者が集めておく。 ・大きさ、形、色など違いがある葉っぱを集める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数種類の葉っぱを集める。 ・色付きの良いもの。 ・ある程度の大きさのもの。 ・気に入ったもの。
6分	<p><導入></p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋に関する歌や色に興味を持つ手遊び。 (どんぐりころころ・どんな色がすき) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペープサートやパネルシアターなどを用いて乳児でもわかる簡単なお話や歌を歌う。CD等音源を使ってもよい。
2分	<p><親子で制作></p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料と作業の手順を紹介する。 	
15分	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で拾ってきた落ち葉や児童館で集めた落ち葉から好きな葉を選んで台紙に置く。 ・ラミネーター専用紙にはさむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が密にならないように、材料の置き場所や作業する場所の配置に注意する。 ・ラミネートは職員がおこなう。
4分	<p><発表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこで拾ってきたかを発表しあう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は、出席人数によって時間がかかってしまうので一人当たりの時間は参加人数で配慮する。
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・作ったものを見せ合い感想を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で葉っぱの大きさ、形、色の違いを遊びながら観察し身近な自然に興味を持ち、親しんでもらう。 ・落ち葉を使ってどんなことができるか感想を聞く。

■使用するもの

物品名	数量	備考
落ち葉	1人5～6枚	参加者に持参してもらう以外に、児童館でも種類を多く準備しておく。
台紙	1人1枚	英字新聞や色用紙A4サイズ
ラミネーター専用紙	1人1枚	A4サイズ
ラミネーター	1台	
バインダー	1人1枚	ラミネートするまでの間、挟んでおくと持ち運びしやすい。

■実施にあたって留意する点

- プログラムを開催する日程をあらかじめ掲示し、親子で葉っぱを拾ってきてほしい旨を知らせておく。
- 落ち葉の準備ができなかったり、日経ちすぎて葉がカサカサになったりしていることが予想されるので、職員側でも使用できそうな落ち葉を用意しておく。
- 乳児親子の場合、椅子やテーブルではなくビニールシートや個々で使用できるようにジョイントマットの上などで行ってもよい。
- 葉っぱが重なりすぎると、厚みでラミネート加工がうまくできなくなるので注意する。
- 仕上げのラミネーターは、職員が担当する。